



平成31年4月23日

四万十市議会議長 宮崎 努 様

会派名 清流クラブ
経理責任者名 小出 徳彦



平成30年度政務活動費収支報告について

四万十市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、別紙のとおり
平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

平成30年度政務活動費収支報告書

会派名 清流クラブ

1 収 入

政務活動費 660,000 円

利息 3 円 合計 660,003 円

2 支 出 262,122 円

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	262,122 円	1/28～1/30東京・山梨県（大月市、都留市）への調査研究
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		

3 残 額 397,881 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

政 務 活 動 記 録 簿

整理番号NO. 1

会派名・代表者名 平野 正



年月日	平成31年1月28日（月）から 平成31年1月30日（水）			
場 所	国会参議院議員会館・衆議院議員会館・山梨県大月市・山梨県都留市			
相手方	県選出国會議員（高野光二郎・中西哲・山本博司参議院議員・山本有二・石田祝稔衆議院議員、山梨県大月市議会・企画財政課地域活性化担当（堀内宏樹主任他）、山梨県都留市企画課（山口哲央課長他担当職員）			
参加者氏名	四万十市議会・清流クラブ、平野正、宮本幸輝、宮崎努、小出徳彦 四万十市議会・公明党 安岡明、山下幸子 議員（6名）			
目的・内容 ・結果等	県選出参議院議員・衆議院議員への表敬訪問と併せて、参議院議員山本博司先生へ精神障がい者への高速道路・公共交通負担軽減策に関して、四万十市議会として意見書を出したい主旨の説明と国としても取り組んで欲しい事の要望に面会。 山梨県大月市は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、人口ビジョン目標人口（2040年約19,000人）を達成する為の5年間で取り組む施策・事業についての視察研修。また、山梨県都留市は市の事業を評価提案する第三者委員会の取り組みについて視察研修をさせていただいた。 夫々別途資料添付（大月市・都留市）			
上記活動に 要した経費	行 き 先	利用交通機関	積 算	金 額（円）
	東京～山梨県	自動車・飛行機	56,230×4人（パック）	224,920円 朝食なし
	中村～龍馬空港	高速料金	須崎～高知1人90×4人	360円
	新宿～大月市	JR往復特急券	5,140×4人（往復）	20,560円
	大月市～河口湖	富士急往復	2,990×4人（往復）	11,960円
	龍馬空港～中村	高速料金	高知～須崎1人90×4人	360円
	駐車料金（空港）		1/28～1/30、1人400円	4人 1,600円
	中村～空港往復	ガソリン代	3,542円÷6=590円余 端数2円は清流で支払	4人 2,362円
	宿 泊 費		内訳：上記パック料金に含まれる	
	飲 食 費		内訳：	
	資料購入費		内訳：	
	その他（ ）			
	合 計 金 額		262,122円 /	
備 考	但し高速料金（往復）1,080円、駐車料金2,400円、ガソリン代3,542円の合計7,022円を6人で割って1人1,170円余となる。公明党分1,170円×2人=2,340円			

*結果等についてスペースが足りない場合は、別途報告書を添付すること。

領収書等添付一覧

【平成30年度】

項目名	調査研究費	支出額（円）	領収書の有無	整理番号	
				活動記録	貼付用紙
1/24	調査研究費 航空券・JR・富士急・宿泊費	257,440円 /	㊟・無	1	1
1/30	調査研究費 空港駐車料金（1人400×4）	1,600円 /	㊟・無	1	2
1/30	調査研究費 高速料金（須崎～高知・高知～ 須崎1人90×2×4人）	720円 /	㊟・無	1	3
1/30	調査研究費 ガソリン代1人590×4 端数2円は清流クラブで支払い	2,362円 /	㊟・無	1	2
			有・無		
			有・無		
			有・無		
			有・無		
			有・無		
			有・無		
			有・無		
			有・無		
			有・無		
			有・無		
合計		262,122円 /			

※領収書等貼付用紙の表紙として使用します。

様式第3号 (第5条関係)

領収書等貼付用紙

項 目	政務活動費	整理番号	/
【領収書・その他証拠書類 貼付欄】 (支出年月日) 平成31年1月28日～30日			

No. 00003743-01
DATE: 2019年01月24日
PAGE: 1

清流クラブ 御中

高知県知事登録旅行業第3-112号

ミヤギ ツム 様
ミヤト コキ 様
コイケ ノリヒコ 様
ヒラノ タシ 様

宮崎 努 様
宮本 幸輝 様
小出 徳彦 様
平野 正 様

交通機関スケジュール

- 2019/01/28 NH564
- 2019/01/30 NH567

10:15 /11:30
16:00 /17:25

高知/羽田
羽田/高知

明 細

ご旅行代金

往復航空券+2泊

高知空港⇄羽田空港

(¥56,230 X 4)

¥224,920

JR代金

往復指定特急乗車券

新宿⇄大月

(¥5,140 X 4)

¥20,560

船車料金

往復乗車+復路特急券

大月⇄河口湖 富士急

(¥2,990 X 4)

¥11,960

領 収 証

清流クラブ

様 No. 20

¥257,440

但 旅行代金として

入金日 2019年 1 月 24日 上記正に領収いたしました

株式会社 四万十トラベル

高知県四万十市黒瀬町1 中村駅内

TEL(0880)34-9360 FAX(0880)34-9361

shimanto-travel@blue.ocn.ne.jp

高知県知事登録旅行業第3-112号/ANTA正会員



内訳

税抜金額

消費税額等 (%)

¥257,440

ご 入 金 額

¥257,440

今回ご請求額

¥0

担当者

坂本

領収書等貼付用紙

項 目	政務活動費	整理番号	2																						
【領収書・その他証拠書類 貼付欄】 (支出年月日) 平成31年1月28日～30日																									
一般財団法人空港振興・環境整備支援機構 高 知 事 務 所 TEL 088-864-4311 領 収 証 <table border="0"> <tr> <td>精算機 #15</td> <td>A 精算No.000039</td> </tr> <tr> <td>発券機 #12</td> <td>発券No.031627</td> </tr> <tr> <td>入庫時刻</td> <td>2019年 1月28日(月) 09:01</td> </tr> <tr> <td>精算時刻</td> <td>2019年 1月30日(水) 17:26</td> </tr> <tr> <td>駐車時間</td> <td>2日 8:25</td> </tr> <tr> <td>駐車料金</td> <td>A料金 2,400円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">=====</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,400円</td> </tr> <tr> <td>現金領収額</td> <td>2,400円</td> </tr> <tr> <td>お預り</td> <td>5,000円</td> </tr> <tr> <td>お釣り</td> <td>2,600円</td> </tr> </table> またのご利用をお待ちしております。  納品書 (領収書) 売上 (株)JAエナジーこうち ジャスポート四万十 高知県四万十市右山五月町7-38 TEL:0880-31-0157 SS:7394180101 2019/01/30(水)19:55 宮本建設(株) 様 73-941-802-003000080-000-01 掛売 99-99 区分 12 プレートNo.3127 初OK 行01 No.0022 レギュラーガ P-16 23.00L/コ @154.0¥3542 合計 ¥3,542 (内消費税等 ¥262) ※掛売となりますので、領収書の効力は有しません。 いつもありがとうございます。 当店おすすめのセルフ洗車、一度お試下さい!! 係員:戸田 璃希 レシートNo.9001				精算機 #15	A 精算No.000039	発券機 #12	発券No.031627	入庫時刻	2019年 1月28日(月) 09:01	精算時刻	2019年 1月30日(水) 17:26	駐車時間	2日 8:25	駐車料金	A料金 2,400円	=====		合 計	2,400円	現金領収額	2,400円	お預り	5,000円	お釣り	2,600円
精算機 #15	A 精算No.000039																								
発券機 #12	発券No.031627																								
入庫時刻	2019年 1月28日(月) 09:01																								
精算時刻	2019年 1月30日(水) 17:26																								
駐車時間	2日 8:25																								
駐車料金	A料金 2,400円																								
=====																									
合 計	2,400円																								
現金領収額	2,400円																								
お預り	5,000円																								
お釣り	2,600円																								
使途・事業名等	政務調査にかかる飛行機・宿泊(パック)・JR・富士急料金																								
按分率等 (按分による支出の場合)	中村～龍馬空港高速・駐車料金・ガソリン代内2,340円を公明二人分として会計へ入金																								
その他																									

様式第3号 (第5条関係)

領収書等貼付用紙

項 目	政務活動費	整理番号	3
【領収書・その他証拠書類 貼付欄】 (支出年月日) 平成31年1月28日～30日			

カードご利用代金明細書



2019年 2月25日発行

1 / 1

787-0025

金融機関名	中村支店
支店名	中村支店
科目・口座番号	
口座名義	

カードご利用代金明細書				金額	通貨	実質年率	備考
ショッピング取組 (国内) >							
1	128	ETC	須崎東 - 高知	普通車	540	リボ	実質年率15.000%
1	130	ETC	高知 - 須崎東	普通車	540	リボ	実質年率15.000%
払小計					0		
払いお支払金額>							

使途・事業名等	政務調査にかかる飛行機・宿泊 (パック)・JR・富士急料金
按分率等 (按分による支出の場合)	中村～龍馬空港高速・駐車料金・ガソリン代内 2,340 円を公明二人分として会計へ入金
その他	

1月28日（月）国会県選出議員への表敬訪問及び要望



障害者施策が専門である山本博司参議院議員
に精神障がい者への高速通行料・公共交通への
負担軽減についての要望。



石田祝稔衆議院議員への挨拶を兼ねた表敬
訪問。

山本博司参議院議員には、精神障害者の現状における高速通行料や公共交通への負担軽減について、国策での取り組みを要望すると同時に四万十市議会でも意見書を国に提出したい趣旨について説明をした。



大月市における視察研修。

大月市議会 山田善一議長の挨拶後、大月市が取り組んでいる人口ビジョンにおける目標値（2040年）達成に向けた施策・事業について説明を受ける。各議員からも質問がなされ、施策・事業への取り組みについては、移住・定住支援対策課を設置し空き家バンク（市営住宅）、住宅取得支援制度、耐震化



支援制度や子育て支援（出生祝い金100万）や、市民農園等様々な取り組みについて説明いただいた。また、大月市には短期大学があり途中からの編入制度もあり全国的に人気があり、生徒数の維持は図られているとの事であった。現在の人口24,640人に対して2040年目標数（19,000人）に近づいているのではないかとこの事であった。



また、財政的には土地開発公社の借入れに対する利息等により実質公債比率18%であり影響となっていることは事実。市民サービスは落とさず緊縮財政で取り組む事についても説明を受けた。

*総合的に、大月市の人口ビジョンにおける目標設定による人口減に対する取り組みは

まち・ひと・仕事創生総合戦略において、5つの基本目標「1雇用・2、人の流れ・3結婚、

出産、子育て・4暮らしやすい街づくり・5人材育成、郷土愛を育む教育」を総合戦略に

設定する中で、様々な政策を連動させ取り組んでいる事は大変勉強になりました。



都留市企画課 山口哲央課長他、担当課から説明を受けた。都留市がこれまでの取り組みとして平成19年～25年度市民参画による「事業仕分け」、平成26年度～市民による事業評価・提案会（学生版）4事業、平成27年度22事業、平成28年度6事業、平成29年度5事業。平成30年度からは現在策定中の長期総合計画中期基本計画（計画年度H31～34）において



大きな柱として検討している「安全・安心なまちづくり」に設定し、これまでの取り組み状況の評価並びに今後の長期総合計画及びセーフコミュニティ事業を推進する上での政策提言を受けるとしている。その上で、30年度評価対象事業として「安全・安心なまちづくり」につながる事業から5事業とし、・防災行政無線管理事業・消費生活相談事業・認知症総合支援事業

・地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業について評価・提案を受けるとしているとの事であった。

事業評価・提案の体制として、コーディネーター1名、評価者6名（外部評価者4名、市民評価者2名）書記＝企画職員、説明者＝事務担当職員で実施されているとの事。これにより評価・提案された内容について市長に提言されたものが政策等に反映されている。この事業評価提案会についての市民関心度については夜間の開催ということもあり少ない。また、周知については広報・HPで周知をしている。効果としては、マタニティータクシー（1回15000円上限）や結婚問題（婚活・シニアも対象で実施）等が上がっている。また、都留市には「都留文化大学」があり3300人の生徒数を確保していることや、富士からの湧水（江戸時代～農業用水）を活用した取り組み（小水力発電を活用）をされている。

大学の存在は都留市にとって歴史的・経済的においても大きな存在に繋がっているのではないかと思います。

また、この事業評価・提案にも大学生の視点からの意見もいただいているとの事であった。

まとめ

大月市・都留市ともに取り組まれている事の先進的な発想と、人口減少問題に対する自治体の課題には共通点があり、全国の地方自治体の大きな課題でもあると実感した。

今回の両市での研修を本市においても生かすことができるよう今後の取り組みが重要であると感じた。

*大月市・都留市の細分についての紹介は別添資料を添付する

平成 31 年 1 月 29 日事業評価・提案会視察 事務局説明

都留市

1. 目的

「事業評価・提案会」につきましては、市が実施している事業について、学識経験者や市民の方等、行政外部の視点から評価や提言を伺うことで、事業を効率的かつ合理的に実施できるよう改善し、今後の事業推進の参考とするために実施しております。

ただし、外部評価の結果を事業推進の最終結論とするのではなく、有識者や市民の評価や意見を参考に、各担当部署が改善策・方向性等の方針を作成、それを市長が決定し、事業を推進していくものとしております。

2. 経緯、テーマ

本市では、平成 19 年度より事業仕分けを実施いたしました。平成 25 年度までに計 71 事業の仕分けを行って参りましたが、既存事業の見直しも一通り終え、仕分け対象事業の選定にも苦慮するようになってきたため、より効果的な外部評価制度による評価を実施するため、実施している事業について、外部からの視点で柔軟な思考や発想のもと、提案・指摘等ができるような手法として、平成 26 年度より「事業・評価提案会」の実施と相成りました。各年度、資料に記載いたしました内容にて実施いたしました。具体的な対象事業については、対象事業一覧として資料 2 をご用意いたしましたのでご確認ください。

本年度につきましては、現在策定中の都留市長期総合計画中期基本計画において、大きな柱として検討しております、「安全・安心なまちづくり」にテーマを設定いたしまして 5 事業を選定し、これまでの取組状況の評価、ならびに今後の長期総合計画及び現在本市で力を入れております「セーフコミュニティ事業」を推進する上での提言・提案を受けました。事業については、「防災行政無線管理事業」「消費者生活相談事業」「認

知症総合支援事業」「狹隘道路整備事業」「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」の5つとなり、平成30年10月30日の午後6時半より開催いたしました。

3. 評価人

続きまして、評価人についてご説明いたします。年度によって様々な方に評価人となっていており、平成26年度については都留文科大学含む県内の学生に、平成27年度には市外出身者である移住者に評価人になっていただきました。ここ数年においては、公募による市民評価人ならびに各分野の学識経験者等の行政が行う幅広い分野に意見をしてくれる方等に評価人となっていております。本年度は3名の市民評価人及び3名の外部評価者の計6名の方に評価していただきました。

また、都留文科大学のCOC及び地域社会学科の先生にコーディネーターを担っていただくことで、評価・提案会のより円滑かつ有意義なものとなるようご尽力いただいております。

コーディネーター及び評価人の方には、事業評価・提案会開催の前に、事前勉強会を行い、対象事業について理解を深めた上で、評価・提案会に臨んでいただくこととなっております。

4. 当日の流れ

続きまして、事業評価・提案会当日の流れにつきましては、資料3をご覧ください。こちらの資料は本年度事業評価・提案会の簡単なスケジュールとなっております。6時30分より開始いたしまして、1事業25分程の持ち時間となります。まず、事業の所管担当職員から事業について簡単に説明を行いまして、その後、評価人から事業についての質疑を行いながらご意見等をいただき、所管担当職員を交えて議論を行います。最後にコーディネーターよりまとめ及び総括をいただき、終了という流れとなっております。

5. 提案・意見等について

資料4をご覧ください。こちらにつきましては、本年度事業評価・提案会にて、当日評価人の方からいただきました評価・提案、ならびに当日挙げきれなかったご意見等を後日提出いただき、事務局にてまとめたものとなります。

もう一枚めくっていただきました評価シートについては、本市で行っております事務事業評価の様式となりますが、こちらを事前勉強会にてコーディネーター及び評価人に配布させていただきまして、事業の内容の確認を行いましたものに、事業評価・提案会后、所管担当より事業の改善策及び今後の方向性について意見聴取したもの（右下黄色い部分）を追加したものとなります。こちらの改善策及び今後の方向性については機関決定を行い、この内容に沿って事業を推進していくものとなります。こちらの結果については、現在ホームページで公開を行っております。

①この制度への市民の関心度は。

⇒毎年、広報等で事業評価提案会の市民評価人を募集しており、評価人をしてみたいという市民の方から応募があるので、関心度はあると考えている。今年度の事業評価提案会の市民評価人からは、市の説明を受けて、市の職員が市民のことを考えて、事業に取り組んでいることを知り、自分も市のために何かしてみたいという意見をいただいた。傍聴して居ただけであれば事業の仕組みを知る良い機会だとは思う。

②事業評価や提案会への市民の意見はどのようなものが多いか。

⇒市民の意見としては、大学生は学生の視点から、子育て世代の主婦は、子育ての視点から、自治会長の方の場合は、自治会の視点からというものが多い。全体的には、平成 25 年度までの事業仕分けよりは、事業評価提案会は、都留市を良くしようとする前向きな提案を前提にしているので、経費削減の観点よりは、効果が拡大されるような提案が多い。

③提案会を通じて、事業への提案や意見を実施した例で、以前よりも効果が上がったものは。

逆に下がったものは。

⇒効果が上がったものとしては、本市ではマタニティタクシー助成事業を実施しており、これまでは、妊婦さんが陣痛が起きた場合のタクシー利用料を病院への 1 回分の助成金を出していたが、平成 28 年度の事業評価提案会で退院時のタクシー代や定期診断時にも使えないかという提案があり、市では受け入れ、1 万 5 千円を上限として退院時や定期健診時にも使えるようになった。また、結婚相談事業においては、シニア層も気軽に参加できる婚活パーティーという提案もあり、本年度、社団法人が中心となって、近隣市町村を巻き込み、45 歳以上に方を対象としてパーティーを開催して好評であったようである。

⇒事業評価提案会の前提が、あくまでも提案で、決定するのは、市長ということを事前に説明しているので、基本的に効果が下がる提案を市が採用することは想定に無いので、特に効果が下がるということはない。仕分け時代には、思い切って事業を廃止と判断をしたものもあったようだが、提案会に移行してから、廃止というようなものは出ていない。

④提案会への市民の参加をどのような方法で呼び掛けているのか。

⇒市の広報、ホームページ、CATVで、市民評価人の募集と、傍聴の呼びかけを行った。また、チラシとポスターを職員が作成し、市内コミュニティーセンター、まちづくり交流センターなどの公共施設に配布して周知を行ってらる。

⑤事業評価や提案会への課題や問題となっている事項は。

⇒本市では、平成 19 年度から事業仕分け、26 年度から事業評価提案会を実施しているが、対象事業は、118 事業となっており、一巡している感がある。事業評価提案会となつてからは、地方創生事業、長期総合計画の重点事業であるリーディング・プロジェクトから選定している。直近 2 年は、テーマを決めて、各課から有識者や市民から意見を聞きたいと思う事業を 1 課 1 事業を提案してもらい、幹部会議で対象事業を決定している経過があるが、対象事業の絞り込みに苦慮している現状があるのが実情である。今後は、地方創生事業など新しく実施する事業を行う際に、職員だけが考えるのではなく、市民ニーズや有識者の意見を聞ける場としては、提案会は非常に有益なツールと成り得るので、評価とともに提案を頂く場として引き続き実施をしていく。